



柳谷 渉
(大河・生々・みどりの会連合)

後期高齢者医療制度の実施

質問 後期高齢者医療制度における被保険者の県内平均年間保険料は6万41円とのことである。低所得者には納められない人たちが、あるいは納めることによって生活費が圧迫されて暮らしていけなくなる人たちも相当数出てくるのではないか。

答弁 保険料については、所得の低い世帯に属する被保険者への軽減措置があり、所得に応じ国保税と同様にそれぞれ均等割額の7割、5割、2割が軽減される。市の試算によると、7割軽減は4929人、46・35%、5割軽減は3555人、3・34%、2割軽減は789人、7・42%、合計6073人、57・11%が軽減措置を受けられると見込まれている。また、この保険料の法定軽減とは別に、国保税同様、災害や失業などにより収入が著しく減少したなど、特別の事情により保険料の納付が困難になった被保険者等を対象とした保険料徴収猶予措置や減免措置

がある。

能代市障害者計画と障害福祉計画

質問 障害者であっても働く意欲も能力もある人に対しては、一般就労できるように、市は力を入れてほしい。また、親から自立できるように、グループホームやケアホーム、福祉ホーム、あるいは介護療養などの支援施設も必要である。

答弁 障害のある人への就労支援は、能代市障害福祉計画により、障害のある人の福祉的就労から一般就労への移行のため、労働関係機関と福祉関係機関がそれぞれ持っている各種情報を共有し、密接な連携を図ることにより支援に努めることとしている。支援施設については、今後の需要見込みを踏まえ、地域における居住の場としてのグループホームやケアホーム等の充実を図り、地域生活への移行を推進する必要があるため、実施主体となる社会福祉法人や医療法人、NPO法人等と連携を図りながら、各施設の整備を促していきたい。

柳谷議員のその他の質問事項

- 安心して出産できるか
- 映画撮影に公共施設を貸すこと



菊地 時子
(日本共産党)

高齢者福祉(巡回バスの拡充)

質問 国民年金健康保養センター等、近場に健康増進施設がありながら、車のない人、冬場に運転を控える人は施設の利用を見合わせている。特に高齢者は安全のために運転を控えたいと思っている。安全や自立の面で必要不可欠な巡回バスの拡充を。

答弁 巡回バスについては、昨年度に運行目的や運行コースの見直しを検討するためアンケート調査を実施しており、利用の目的は通院、買い物約8割を占める結果であった。こうしたアンケート結果などをもとに、運行の目的を「日常生活に根ざした交通手段」「生きがいや健康づくり、社会参加のための交通手段」「市街地の活性化」とし、高齢者などの交通弱者を対象とした運行を行っている。公共交通については根本的な見直し時期が迫っているものと認識しており、運行コースを含めてどのような役割を果たしていくべきか、多方面から検討していきたい。

高齢者医療制度

質問 年金生活者の多くは年収200万円前後で、そこから税や医療、介護の負担を差し引くと生活費は大幅に減少し、これ以上は耐えられない状況である。後期高齢者医療制度で資格証明書発行等、高齢者への新たな影響は。また、市独自の助成の考えは。

答弁 資格証明書は、老人保健医療制度では発行の対象外となっているが、後期高齢者医療制度では、特別な理由がなく保険料を滞納した場合は、短期被保険者証や資格証明書を交付することになる。また、加入者全員が保険料を負担することになり、扶養となっていた人も新たに保険料が徴収されることになる。しかし、激変緩和のため、制度加入時から2年間は所得割を課さず、均等割額を5割軽減する。市独自の助成については、市の厳しい財政事情や県内全市町村による共同事務であることから、制度スタート時からの助成は考えていない。

菊地議員のその他の質問事項

- 高齢者福祉(空き家・廃校利用)